

News Release

2023年7月31日

## 太陽誘電:「安全・環境報告書 2023」公開のお知らせ

—2022年度の安全と環境への取り組みを報告—



太陽誘電株式会社(代表取締役社長執行役員:佐瀬 克也、本社:東京都中央区)は、2022年度の安全および環境への取り組み実績などをまとめた「安全・環境報告書 2023」を公開しました。

当社は、安全と環境への取り組み、主な成果などについてわかりやすく体系的に開示するため、2002年から「環境報告書」を、2005年からは労働安全衛生に関する記載を追加した「安全・環境報告書」を、年度ごとに公開しています。

地球規模の課題である気候変動に対し、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すため、当社はGHG(注1)排出量を絶対量で2020年度比42%削減という2030年度目標を設定し、目標達成に向け徹底した省エネ・創エネ・再エネを実行していきます。また、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に沿った情報開示の拡充を行っています。

安全衛生については、活動水準をさらに向上し2025年度に向けた安全衛生中期目標を達成するため、5M(Man、Machine、Method、Material、Measurement)の項目ごとに目標を定め、取り組みを進めています。

当社は、企業の社会的責任を果たし持続的に発展していくことを目指しています。安全と環境への取り組みは当社が果たすべき重要な課題のひとつととらえ、グローバルな視点に立った安全・環境活動を継続して推進していきます。

※ 太陽誘電グループの安全および環境への取り組みについては、当社ウェブサイトの「[サステナビリティページ](#)」でも紹介しています。

※ 「安全・環境報告書 2023」およびバックナンバーは、「[安全・環境報告書ダウンロードページ](#)」にて公開しています。

## ■用語解説

(注1) GHG(温室効果ガス、Greenhouse Gas)

二酸化炭素やメタンなど、地表から放射された熱を吸収する性質を持つガスのこと。COP26において合意された「1.5°C目標」の達成に向けて、GHG排出量を大幅に削減していくことが求められている。